



様式第12号(第14条関係)

令和6年6月28日

令和5年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 琴浦町赤碕400-6
団体名 とっとり県美応援団
代表者職・氏名 団長 佐伯 健二

令和5年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和5年度合計 200,000円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書<様式第12号の2>
- (2) 寄附金活用収支決算書<様式第12号の3>

様式第12号の2 (第14条関係)

令和5年度寄附金活用実績報告書

事業名	鳥取県立美術館を成功させる応援サポーター (とっとり県美応援団)
実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
<p>事業内容</p> <p>※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。</p>	<p>県民対象のパネルディスカッション「2年後の開館に向けて、私たちの覚悟」を4月15日、日本海新聞中部本社ホールで開催した。パネリストは倉吉市長、倉吉博物館長、倉吉商工会議所青年部長。86人の県民が参加し、開館に向けて心を新たにしました。</p> <p>パワーアップ研修会「滋賀県立美術館視察」を6月17日、県民34人の参加を得て開催した。</p> <p>開館1年前カウントダウンイベント「どんどこ！巨大紙相撲～とっとりけんび場所～」に団員10数人が参加し、運営サポーターとして役割を果たした。</p> <p>このほか、広報紙「びー・さぼ」を発行するなど、年間を通じて様々な活動を展開した。</p>
事業実施の成果・効果 (見込み)	<p>事業実施によって、県中部住民をはじめ県民の中に、待望の県立美術館の開館が間近に迫っており、一人ひとりが果たすべき役割があること、それに参画することが楽しく、県民の誇りにつながることを身をもって知ることができた。</p> <p>県立美術館を運営する県や委託先組織から「困ったときの県美応援団」として信頼を高めることができた。</p>

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第12号の3 (第14条関係)

令和5年度寄附金活用収支決算書

【収入】

区 分	金額 (円)	内 訳
前年度繰越金	49,017 円	
支援寄付金	200,000 円	
収入 計	249,017 円	

【支出】

区 分	金額 (円)	内 訳
印刷費	4,125 円	ニュースレター「びーさぽ4号」
消耗品費	1,620 円	広報紙発送用封筒代 330 インク代 1,290
郵送代	7,280 円	広報紙郵送代 140 円×16 通、84 円×60 通
委託費	4,532 円	ホームページ年間維持管理費
予備費	5,500 円	ホームページ記事掲載受講料
次年度繰越	225,960 円	
支出 計	249,017 円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。